

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-01		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	文化振興事務費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
			担当者名	高田	内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-02	事務費						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業					
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 62年度		根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等	荒川区芸術文化事業共催要綱				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	①芸術文化振興プラン：プランに掲げた事項について着実に推進するとともに、平成31年4月の改定に向け、平成30年度は、次期プランの検討・策定を行う。 ②ディスカバーあらかわ：一般公募した区内の風景・風物をテーマとした作品を展示 荒川区長賞(1点)、荒川区長奨励賞(3点)、太平洋美術会会長賞(2点)、荒川区美術連盟理事長賞(2点) ③西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の展示スペースを希望者に貸出(6か所、最長2週間) ④太平洋展：太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与 ⑤公共施設サイン：サインの清掃・修繕 ⑥JOBANアートライン協議会：常磐線沿線地域の活性化を図っていくことを目的とした協議会で、年に一度アートワークショップ等を開催 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：東京2020大会の気運を醸成する文化イベントを実施 ⑧区民ミュージカル補助：子どもを中心としたミュージカルを行う団体への補助（平成29年度実施）							
経過	①芸術文化振興プラン：平成21年6月に策定、平成26年6月に改定、平成30年度改定予定 ②ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式で募集。平成19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。 ③西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は道路公園課、運営は文化交流推進課。 ④太平洋展：平成9年度から、太平洋展にて荒川区長賞を授与している。 ⑤公共施設サイン：昭和62年度より設置事業を開始。現在サインの設置を休止し、荒川区公共サインガイドラインに沿って、整備及び修繕・清掃を実施。平成29年度より事務費へ組替 ⑥JOBANアートライン協議会：H18年協議会設立総会開催。H29年度10周年記念シンポジウム開催。 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：平成29年度から気運醸成事業として実施。 ⑧区民ミュージカル補助：平成29年度に区制85周年記念事業として実施。							
必要性	芸術文化活動は、人間の内面に対する探求を行うものである。芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） ①推進会議の開催。②一般公募したものを展示し、優秀な作品に賞を授与。③申請を受け内容を審査。 ④太平洋展の初日に授与。⑤清掃・修繕を委託。⑥負担金を支出。⑦委託にて実施。⑧団体補助							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	ディスカバーあらかわ区民応募率(%)	50.9	55.1	50.4	60	65	
	②	ディスカバーあらかわ応募点数	114	127	110	130	150	
③	旧地区案内板撤去率(%)	50.0	60.0	70	80	100.0	H29年度までに7基撤去。H30年度以降、順次整理を行う。	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
推進		推進						
地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。								

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		4,846	6,926	5,013	3,909	4,540	9,409	10,326
決算額(30年度は見込み)		4,532	6,349	4,688	3,637	4,207	7,792	10,326
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
西日暮里ギャラリー展示件数		20	23	20	21	27	29	30
ディスカバーあらかわ応募点数		125	104	103	114	127	110	130
サイン設置数		31	31	30	29	32	31	30
サイン清掃数		31	31	30	29	20	21	31

予算・決算の内訳

(単位：千円)

平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	非常勤職員報酬	2,599	報酬	非常勤職員報酬	2,594	報酬	非常勤職員報酬	2,646
共済費	非常勤社会保険料	390	共済費	非常勤社会保険料	388	共済費	非常勤社会保険料	395
報償費	芸文プラン推進会議謝礼	79	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	608	報償費	芸文プラン策定委員会謝礼等	709
旅費	近接地内旅費・特別旅費	73	役務費	サイン清掃費等	89	旅費	近接地内旅費・特別旅費	454
需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	477	委託料	文化プログラム	1,268	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	1,402
委託料	サイン撤去跡歩道舗装	297	使用料等	ディスカバー付帯設備	156	委託料	サイン撤去、文化プログラム	4,279
使用料等	ディスカバー付帯設備、負担金	158	負担金等	区民ミュージカル補助金	2,498	使用料等	ディスカバー付帯設備等	189

行政コスト計算書

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	6,503	13,778	7,275	地方税	0	0	0
	物件費	1,013	2,227	1,214	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	76	0	▲76	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	129	2,583	2,454	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	1,978	1,978
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	1,978	1,978
	賞与・退職給与引当金繰入額	201	2,682	2,481	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲7,922	▲19,292	▲11,370
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	7,922	21,270	13,348	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲7,922	▲19,292	▲11,370
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲7,922	▲19,292	▲11,370	

備考 行政費用では、委託料として物件費、補助費等が多くかかっている。29年度は文化プログラム「ゆいアート展」の実施により物件費が増加し、区制85周年記念区民ミュージカルの実施により補助費等が増加した。

問題点・課題 ①ディスカバーあらかわの応募点数について引き続き太平洋美術会、荒川区美術連盟と協力し、区民の応募が増えるよう周知を行う。

②公共施設サインについては、複合施設準備室が設置したサインと、既存のサインのデザインに統一性がとれていないため、検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	「ディスカバーあらかわ」の区民応募率、応募点数の増加に向けて、引き続き周知に力を入れていく。	関係団体を通じて、団体の会員への周知、区報、区営掲示板、HP、各施設でのチラシ配布等で周知を行った。	区民応募率、応募点数の増加に向けて、他部署のイベント等でのチラシ配布、複数回の告知など、引き続き周知に力を入れていく。
②	荒川区公共サインガイドラインに沿って、他部署と連携して引き続きサインの整備を行う。	荒川区公共サインガイドラインに沿って、旧デザインのサインの撤去等、整備を行った。	引き続き、荒川区公共サインガイドラインに沿って、他部署と連携して、区内サインの整備を行う。
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区)

議(要)質問(状) 平成25年1定 公共施設サインについて、統一のとれた計画によって整備する取組が必要

平成28年度決特 芸術文化振興基金の取り扱いについて

平成29年度11月会議 芸術文化振興基金の活用について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-06		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		彫刻の街づくり事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
				担当者名	南谷、藤田	内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-04-01	彫刻の街づくり事業費					
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60年度	根拠				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供する魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	(1) 彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 <設置場所の基本的な考え方> ① 区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ② 特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じられるものを設置してきた経緯がある。 (2) 汐入タワーの管理【平成29年8月をもって事業終了】 平成23年度から都立汐入公園（南千住8丁目）内に設置されたインプログレス作品「汐入タワー」の管理およびタワーを活用した事業を展開してきた。平成29年8月をもって展示終了となり、管理を終了した。							
経過	(1) 彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計139体（うち寄贈89体）を設置。（平成30年3月時点） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成19年度以降は東京藝術大学との連携事業として卒業・修了作品の中から区長賞受賞作品を設置。 ・平成23年度彫刻マップをHP上に掲載。 ・平成29年度寄贈された極彩色木彫作品48体を区有施設に設置。 ・平成30年5月寄贈された「山吹の花一枝」像を日暮里駅前に設置。 (2) 汐入タワーの管理 ・平成23年3月竣工。 ・平成29年8月1日にクロージングイベントを実施し、作品の展示を終了。							
必要性	彫刻は、街にゆとりとるおいを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） (1) 彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理。 (2) 汐入タワーの管理：平成26年度～29年度、区が維持管理。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数(年度内)/修繕必要数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
継続		継続		藝大との連携も含め新たな視点での彫刻設置を推進する。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,475	3,628	4,758	5,837	9,885	12,701	6,671
決算額(30年度は見込み)		1,397	3,342	4,342	4,051	2,857	11,412	6,671
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
彫刻の清掃メンテナンス(体)		62	51	51	62	53	54	55
彫刻の修繕数(体)		2	1	2	1	1	2	1
区内の彫刻数(体)		77	80	83	87	89	139	142
設置数		2	3	3	4	2	50	3
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	彫刻修繕、消耗品	305	需用費	彫刻修繕、消耗品	491	需用費	彫刻修繕、消耗品	310
委託料	彫刻清掃、汐入タワー管理	2,057	役務費	彫刻運搬費	112	委託料	彫刻清掃・撤去、説明版作成	3,665
負担金等	汐入タワーワークショップ	495	委託料	彫刻清掃、汐入タワー撤去	7,916	工事請負費	彫刻設置工事	832
			備品購入費	展示ケース	2,392	備品購入費	彫刻台座購入費	1,864
			負担金等	汐入タワークロージングイベント	500			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		3,333	4,228	895		地方税		0	0	0
物件費		2,362	10,912	8,550	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		495	500	5	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		191	1,051	860	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		6,381	16,691	10,310	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 6,381	▲ 16,691	▲ 10,310		

備考 行政費用では、委託料、備品購入費として物件費が多くかかっている。主な内訳としては、汐入タワー撤去委託に6,939千円、彫刻作品用展示ケース購入に2,392千円程度かかっている。29年度は、汐入タワーの撤去及びクロージングイベントを実施したため物件費が増加した。

問題点・課題 身近な芸術作品として区民に親しんでもらえるよう、彫刻マップの作成等、区内に設置している彫刻作品のPRの強化をする必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区内彫刻作品のPR方法を専門家と共に検討する。	荒川区ホームページでのPRを行っているほか、彫刻修繕及び清掃を実施し、安全管理を行っている。	区内彫刻作品への親しみをもってもらえるよう、引き続き、区報・HP等で周知を行う。
②	関係機関と調整の上、適切な時期、方法での汐入タワークロージングイベントを実施する。	平成29年8月にクロージングイベントを開催するとともに、作品の展示を終了した。	
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会議決要旨	平成19年1定 彫刻のPR(彫刻マップ等の作成)について 平成27年度決特 汐入タワーの安全管理について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-07		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		音楽のまちづくり推進事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
				担当者名	藤田	内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-05-01		音楽のまちづくり推進事業費				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61年度		根拠		
終期設定		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等		
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系		分野	V		文化創造都市			
		政策	09		伝統文化の継承と都市間交流の推進			
		施策	01		芸術文化の振興			
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、区が補助金を交付し活動を支援することで、荒川区の文化振興を図る。							
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：28名（平成30年4月現在）							
内容	≪合唱隊への補助金の支出≫ 合唱隊の活動に要する経費で、合唱隊が計画及び予算を決定する事業について、区長が認めたものを補助対象事業とする。 ≪参考≫合唱隊の主な活動状況 平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで幅広く活動 ・「ゆいの森あらかわ」にて荒川区・ドナウシュタット区交流都市20周年記念演奏旅行の報告展示を実施 平成30年度（予定） <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで活動 ・交流都市である福島県釜石市主催の「市民合唱祭」へゲスト出演 							
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「ここで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピーイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） ※このほか、荒川区新年祝賀会で合唱を披露している。 ②あらかわキャラバン事業による派遣 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市へ派遣							
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、全国的に知名度の高い合唱隊の活動を今後も支援していく必要がある。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	定期演奏会来場者数(%)	80	61	75	80	85	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
継続		継続		合唱活動を通じた区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成のため、支援を継続していく。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
決算額(30年度は見込み)		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
隊員数		34	35	30	33	28	28	30
定期演奏会来場者数		756	800	950	362	818	815	800
演奏回数		17	17	10	19	16	11	12

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	180	180	0	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,852	1,852	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	10	45	35	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	2,042	2,077	35	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,042	▲ 2,077	▲ 35	

備考 行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は東京荒川青少年少女合唱隊への補助である。

問題点・課題 ①学校や地域などと連携した事業展開やメンバー募集を支援する必要がある。
②区の行事への参加など、活動の機会や場所について、情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の活動の広報についても支援を行っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区内外での演奏会等の活動について、支援を行った。	区内外での演奏会等の活動について、支援を行った。	引き続き、演奏会のほか、その他の活動について支援を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 5 区 未実施 0 区 不明 17 区)
議(会)質(問)状	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-08		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		東京藝術大学との連携事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
				担当者名	藤田	内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-06-01 東京藝術大学との連携事業費						
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		21年度		根拠			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進						
	施策	01 芸術文化の振興						
目的	荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。							
対象者等	東京藝術大学関係者、区民等							
内容	(1) 東京藝術大学卒業生グループ「アブリュス」（以下「A+」）と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもを育むためのワークショップ（以下、「W.S」）や講座、公開制作など芸術教育事業の実施、区民の芸術文化活動の振興のため展覧会や制作講座などの企画実施を行い、芸術文化を介した交流の機会を提供する。 (2) 19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。（22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替） (3) 22年度・24年度・25年度・26年度・28年度にA+に委託して地域と協力し壁画制作を実施。 (4) 文字や写真だけでは伝わらない荒川区の魅力を映像で内外に発信する「荒川区PR映像」の活用を図る。 (5) プロによる演奏と専門家による教育を区内幼稚園の園児等に提供することにより、区の文化・芸術振興をはかる。							
経過	H20年度：「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結 H21年度：水道局旧工業用水道事務所（以下、「旧水道局南千住施設」）をA+が使用（～H24.8）、W.S開催 H22年度：常磐線第2三ノ輪ガード壁画制作（9～12月）、W.S（4講座） H23年度：W.S（6講座） H24年度：東日暮里第1・第2辻元ガード間壁画制作（6月～10月）、W.S（6講座）、 H25年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（南千住側）制作（10～1月）、W.S（10講座） H26年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（東日暮里側）制作（10～1月）、W.S（6講座）、 H27年度：旧水道局南千住施設を転貸借、W.S（8講座）、区PR映像作成、 H28年度：常磐線日暮里7号線ガード下壁画制作（9月～10月）、W.S開催（9講座） H29年度：W.S（19講座）、コンサート2回 H30年度：旧水道局南千住施設の転貸借終了（5月）、連携10周年事業、W.S（19講座）、コンサート2回							
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 東京藝術大学音楽学部や、A+（アブリュス）に委託して実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	藝大と連携した参加型事業への参加者数	339	732	670	750	910	
	②	区民との共同による壁画制作	4	5	5	6	9	壁画の制作数
③	幼児期における芸術教育の推進	13	13	13	13	13	幼児を対象とした事業数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進		東京藝術大学との連携により、芸術家の活動を支援するとともに、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していく。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		9,602	8,492	7,179	27,860	30,100	30,009	28,405
決算額(30年度は見込み)		8,569	8,226	6,666	17,905	28,484	24,369	28,405
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
実施事業数		6	10	7	8	9	8	10
藝大卒業修了制作作品数累計		12	14	16	18	20	22	24

予算・決算の内訳

平成28年度(決算)		平成29年度(決算)		平成30年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,432	報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,179
需用費	消耗品購入	74	需用費	消耗品購入	145
役務費	賞状筆耕	6	役務費	賞状筆耕	7
委託料	ワークショップ委託	7,055	委託料	ワークショップ委託	4,179
使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,833	使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,548
工事請負費	卒業作品設置工事	783	工事請負費	卒業作品設置工事	311
備品購入費	卒業作品展示ケース	300	備品購入費	卒業作品展示ケース	20

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		3,604	4,948	1,344		地方税		0	0	0
物件費		25,269	22,190	▲ 3,079	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		2,432	2,179	▲ 253	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		17,548	17,548	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		17,548	17,548	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		206	1,229	1,023	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		
その他行政費用		783	0	▲ 783	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		32,294	30,546	▲ 1,748	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 14,746	▲ 12,998	1,748		

備考 行政費用では、使用料及び委託料として、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、水道局旧工水事務所賃料に17,548千円、路上タイル制作委託に1,954千円がかかっている。29年度は、28年度に実施した映像作品の制作が完了したため、物件費が減少した。

問題点・課題 ①より多くの区民が、芸術文化に触れる機会を増やすために、様々な分野、場所での東京藝術大学と連携した事業を実施する必要がある。
②地域住民から愛され、景観を損なわない壁画を制作するため、デザインの決定や制作の過程に地域住民の参加を促す必要がある。
③今後、藝大との連携をさらに深めていくためには、既存事業の充実及び新規事業を実施する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	東京藝大と、ゆいの森あらかわホールを活用した新たな音楽イベントを実施。	東京藝大と、ゆいの森あらかわホールを活用した新たな音楽イベントを実施。	東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携締結から10周年として、記念イベントを実施する。
②	壁画下に、山吹の花をデザインしたモザイクタイルを近隣小学校と協働して制作。	壁画下に、山吹の花をデザインしたモザイクタイルを近隣小学校と協働して制作。	文化プログラムとして、オリンピックパラリンピックの気運を高める壁画を制作予定。 ⇒文化振興事務費
③			

他区の実況 (実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区)
・壁画の実施区の数

況議(会質問状) 平成27年度9月会議 南千住水道局跡地・東京藝術大学活動拠点での映像分野の取り組みの充実について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-09		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事	
事務事業名		俳句文化振興事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井
				担当者名	高田	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-07-01 俳句文化振興事業					
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業	
開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		27年度		根拠	
終期設定		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等	
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系		分野	V 文化創造都市				
		政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進				
		施策	01 芸術文化の振興				
目的	「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、俳句のまちであることを区内外へ強く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むとともに、矢立初めの地千住を始めとした俳句に縁のある観光スポットを、区内外に向け広くPRすることで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。						
対象者等	区民及び区外からの来訪者、俳句サミット加盟自治体等						
内容	≪平成29年度の主な取組≫ ①俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会へ加入（区長が副会長に就任） ②かぞ句会（子育て世代向け 託児あり）の実施 ③PRグッズの制作（てめぐい） ④あらかわ俳壇入選句等の都電内掲示 ⑤あらかわ吟行会の実施 ⑥中高生俳句バトルin開成への協力 ⑦5俳句団体への「俳句のまちあらかわ賞」提供 ⑧松山俳句ポストの管理（観光推進課から移管） ⑨俳句のまちあらかわパンフレットの作成 ≪平成30年度の新規取組≫ ①俳句道場（宿泊型吟行句会）の実施 ②現代俳句協会青年部連携シンポジウムへの協力 ③第5回芝不器男俳句新人賞への協力						
経過	南千住は「奥の細道矢立初めの地」であり、ひぐらしの里（日暮里）も江戸の名所として知られ、多くの文人達が足跡を残した俳句にゆかりの地である。これまでも、子ども俳句相撲大会の開催や奥の細道サミットへの参加、むすびの地・大垣市との交流、区内小中学校における取組などを通じて俳句文化の振興を図ってきた。 平成27年3月「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、更なる俳句文化の振興を図る。 平成27年3月14日 奥の細道千住あらかわサミットにて「荒川区俳句のまち宣言」を発表 平成27年度：あらかわ俳壇、俳句宣言銘板・俳句タイルの制作・設置、PRグッズ、俳句手帳の作成 平成28年度：英語俳句手帳の作成、俳句ハイク、俳句PR映像の制作、あらかわ俳壇、あらかわ句会 平成29年度：俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会加入、中高生俳句バトルin開成、パンフレットあらかわ俳壇（年4回実施）						
必要性	俳句にゆかりの地として、俳句文化の更なる振興を図り、豊かな俳句の心を育み、幸せと活気に満ちた魅力あふれる荒川区をめざすとともに、俳句による地域振興・観光振興等を図ることができる。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	① 投句事業への投句数	855	1,290	1812	1900	2,000	
	② 俳句ポスト設置数	9	9	10	11	15	
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度		31年度					
重点的に推進	重点的に推進		効果的な俳句振興につながるよう、事業の精査をおこなうとともに、多彩な事業を展開し、俳句文化の裾野を広げる。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		—	—	0	4,474	3,213	4,503	8,233
決算額 (30年度は見込み)		—	—	0	3,091	1,715	1,723	8,233
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名 (30年度は見込み)								
投句事業 (年間)					4	4	5	5
俳句ポストの設置					9	9	10	11

予算・決算の内訳		平成28年度 (決算)			平成29年度 (決算)			平成30年度 (予算)			
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	講師謝礼	261	報償費	講師謝礼	188	報償費	講師謝礼	447			
旅費	職員旅費	114	旅費	職員旅費	221	旅費	職員旅費	323			
需用費	消耗品購入、印刷製本	1,118	需要費	消耗品購入、印刷製本	684	需要費	消耗品購入、印刷製本	1,471			
役務費	俳句ハイク保険料	3	委託料	手拭製作委託	473	委託料	俳句ポスト作成	2,840			
委託料	俳句シート作成	64	使用料等	俳句ハイクバス借り上げ	93	使用料等	俳句ハイクバス借り上げ等	251			
使用料等	俳句ハイクバス借上げ	156	負担金	俳句ユネスコ協議会	20	備品購入費	俳句銘板作成	2,700			
						負担金	俳句ユネスコ協議会	20			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		5,856	8,367	2,511		地方税		0	0	0
物件費		1,452	1,514	62	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		264	208	▲ 56	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		335	2,079	1,744	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		7,907	12,168	4,261	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 7,907	▲ 12,168	▲ 4,261		

備考 行政費用では、需用費、委託料として物件費が多くなっている。主な内訳としては、PRグッズの作成に606千円、俳句のまちあらかわ手拭製作委託に410千円かかっている。

- 問題点・課題
- ①俳句文化の裾野を広げるため、投句数を増やしていく。
 - ②幅広い世代の区民が参加できる事業を行う必要がある。
 - ③「奥の細道330周年」に向けて検討する。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、幅広い区民が参加しやすい事業形態について検討する。	あらかわ俳壇のチラシ作成、俳句のまちあらかわパンフレットを作成し、俳句の取り組みに関する周知を積極的に行った。	引き続き、他事業や施設でのチラシ配布による周知を積極的に行う。
②	引き続き、中学生・高校生に向けた事業を実施し、子育て世代への事業拡大を検討する。	子育て世代対象「かぞ句会」、中学生向け「俳句ハイク」の実施、開成学園主催「中高生俳句バトルin開成」の協力を行った。	区内外の俳句団体と協力・連携を図り、幅広い世代に向けた多彩な事業を展開する。
③			

他区の実況	(実施 1 区)	未実施 21 区	不明 0 区)
状況	ジュニア俳句祭		
議(会)質(問)状	平成27年度2月会議 平成28年度2月会議 平成29年度2月会議 平成29年度6月会議	俳句宣言後の取組について 「俳句のまちあらかわ」の推進について ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について 「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-10	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
		担当者名	松井	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	財団職員人件費					
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63年度		根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開をはかり区民サービスを充実させる。あわせて、将来的に区財政の負担軽減を図る。						
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団						
内容	本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。 ・平成30年度（4月1日現在） 常勤職員：事務局長1人（固有）、次長1人（固有）、管理係3人（派遣）、文化事業係4人（派遣） <派遣職員7人、固有常勤職員2人、固有非常勤職員7人、固有非常勤理事1名> ・運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 ・理事会評議員会経費：理事会（13人）、評議員会（17人）開催に係る経費 ・財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等						
経過	平成18年度：町屋文化センター（所管：社会教育課）及び荒川遊園（所管：公園緑地課）の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。 平成20年度：荒川遊園事業部長を設置。 平成21年度：理事長を常勤職員（固有）とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置。 平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用。 平成23年度：理事長と事務局長を兼務、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理終了（区直営となったため） 平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行（4月1日） 平成26年度：次長職を配置 平成27年度：次長職は事務局長が兼務、文化事業係の派遣職員数を1名増 平成29年度：次長職を配置						
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。						
実施方法	（ <input type="radio"/> 直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 補助金の交付						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	① 友の会会員数	406	609	678	780	800	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
推進	推進	芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要である。ACCの効率的な運営のため、職員体制確保は不可欠である。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		45,637	45,184	45,184	27,319	54,534	54,534	54,534
決算額(30年度は見込み)		27,995	29,501	24,591	18,101	39,445	35,764	54,534
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
チケット収入率(%)		46	33	39.5	26.8	37.3	42.6	35.6
参加・体験型事業件数		23	22	29	20	26	21	22
芸術文化・地域振興事業来場者数		52,108	52,697	52,925	35,121	52,342	42,241	43,235
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350	負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350	負担金補助等	ほっとたうん発行(財団運営費)	9,350
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	30,095	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	26,414	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	45,184

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		90	270	180		地方税		0	0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		39,445	35,764	▲ 3,681	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		5	67	62	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 39,540	▲ 36,101	3,439		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		39,540	36,101	▲ 3,439	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 39,540	▲ 36,101	3,439		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 39,540	▲ 36,101	3,439		

備考 行政費用では、給与関係費が少ない一方で、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、広報紙発行費として9,350千円、芸術文化・地域振興事業費として26,414千円がかかっている。

問題点・課題 荒川区の芸術文化振興の中心的担い手として、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。また、サンパル荒川のリニューアルを受け、さらなる事業を充実させ、1-1-1ギャラリーの有効活用も検討していく。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新たな参加型事業等、次世代を育成する取組を推進する。	子供向け演劇参加型事業について、運営方法を改善する等、次世代を育成する取組を推進した。	参加型事業の改善や指導者派遣の活用等により、次世代を育成する取組を推進する。
②	事業の改善・見直しを図り、区民ニーズに応え、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開に努める。	企画公募事業の募集内容の見直しにより、区民が求める企画の発掘に努めた。	事業の改善、見直しを図り、区民ニーズに応え、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開に努める。
③			

他区の実況	(実施 18 区)		未実施 0 区		不明 4 区)	
	況(要質問状)	平成25年度予特	区民ミュージカル事業の推進について	平成25年度決特	事業内容の把握と価値ある事業について	平成26年度決特

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区民会館費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
		担当者名	松井	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	区民会館管理運営費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	49年度	根拠	荒川区区民会館条例及び条例施行規則			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。						
対象者等	区民及び一般市民						
内容	<p>名称 荒川区民会館(愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕)</p> <p>所在地 荒川区荒川1-1-1 電話 3806-6531</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで(受付は午後8時まで)</p> <p>休館日 年末年始(12月29日から1月3日)</p> <p>構造・規模 SRC造 地下1階、地上6階 延床面積10,044.09㎡</p> <p>施設の概要 1F:大ホール(975席、1161.88㎡) 2F:レストランモア、ACCギャラリー 3F:小ホール(移動席300席、281.09㎡) 4F:第1集会室(洋室50名)、第2集会室(洋室50名)、第3集会室(洋室50名)、第4集会室(和室40名) 5F:第5集会室(洋室50名)、第6集会室(洋室50名)、第7集会室(洋室100名) 6F:荒川コミュニティカレッジ</p>						
経過	<p>昭和50年 3月28日 荒川区民会館オープン</p> <p>平成 2年 4月 1日 財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託</p> <p>平成 4年 4月 1日 改修工事のため休館(同年10月31日まで)</p> <p>平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入によりMKT共同事業体による管理開始。(平成21年度更新) 毎週月曜日の開館とともに、年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。</p> <p>平成18年 7月 5日 レストランモアにレストラン運営の行政財産使用許可を開始。</p> <p>平成22年 8月 2日 結婚式場と控室を廃止し、社会教育課が荒川コミュニティカレッジとして使用開始。</p> <p>平成24年 4月 1日 指定管理者公募により、MKT共同事業体による管理開始。(平成27年度更新)</p> <p>平成24年 6月 1日 荒川区芸術文化振興財団の分室(ARAKAWA1-1-1ギャラリー)が開設。</p> <p>平成28年 4月 1日 平成27年度に1年間休館で実施した大規模改修が終了。リニューアルオープン。</p> <p>平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、(株)ケイミックスパブリックビジネスによる管理開始。</p>						
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。						
実施方法	<p>(3委託) (直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員)</p> <p>指定管理者：(株)ケイミックスパブリックビジネス 指定管理料：29決算171,779,600円、30予算159,404,000円</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	① 文化、芸能のイベント件数(件)	0	229	252	240	250	音楽、演劇、舞踊、映画等での催事数
	② 文化、芸能の利用人数(人)	0	97,540	87,483	122,000	122,000	上記①での利用人数
③						(※27年度は休館)	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		218,946	246,370	1,226,234	1,808,365	187,486	188,297	204,326
決算額(30年度は見込み)		218,607	245,604	1,187,982	1,735,745	169,252	168,414	204,326
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
大ホール貸出稼働率(%)		57.6	55.1	55.6	(休館)	55.5	62.6	57.9
小ホール貸出稼働率(%)		63.4	61.9	62.4	(休館)	56.4	55.3	58.0
集会室貸出稼働率(%)		42.7	43.2	40.5	(休館)	36.8	40.6	39.3
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	実績評価委員会報酬外	60	報償費	実績評価委員会報酬外	740	報償費	実績評価委員会報酬外	68
需用費	実績評価委員会賄外	48	旅費	公募調査用旅費	0	需用費	実績評価委員会賄外	2
委託料	指定管理者委託料外	168,766	需用費	実績評価委員会賄外	0	委託料	指定管理者委託料外	201,839
備品購入費	指定管理者対応備品	378	委託料	指定管理者委託料外	167,329	使用料	AEDリース料外	68
			使用料	AEDリース料外	45	備品購入費	指定管理者対応備品	2,349
			備品購入費	指定管理者対応備品	300			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		7,003	8,997	1,994		地方税	0	0
物件費		169,192	167,673	▲1,519	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等		60	740	680	使用料及び手数料	4,378	4,382	4	
減価償却費		15,930	15,930	0	その他	5,322	25,301	19,979	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	9,700	29,683	19,983	
賞与・退職給与引当金繰入額		630	2,235	1,605	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲183,115	▲165,892	17,223	
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	▲3,859	▲3,966	▲107	
行政費用合計(b)		192,815	195,575	2,760	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲186,974	▲169,858	17,116	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲186,974	▲169,858	17,116	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として154,313千円がかかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

- 問題点・課題
1 大規模改修後の施設運営
2 稼働率の向上

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	問題の早期対応を目指すため、引き続き不具合状況報告の連絡体制を継続する。	不具合報告は月報で求め、各点検報告も写しを提出させた。緊急連絡網の充実で、問題発生時も早期対応が図られていた。	ハード面の強化は継続しつつ、ソフト面での対応力向上を目的に利用者意見の綿密な共有を目指す。
②	引き続き広報活動に力を入れるよう指定管理者へ要請する。	施設の認知度を高めるため、情報誌をリニューアルし、多くの方に手に取ってもらえるよう努めた。	新たな指定管理者が提案した稼働率向上策を協議の上、実施していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議(要)質問 議(要)質問 議(要)質問	平成26年予特 「ケータリングの導入検討について」 平成27年度9月会議 「荒川区民会館の長寿化について」 平成28年決特 「ケータリングの利用方法について」 「休業日の取扱いについて」

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-13		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	日暮里サニーホール費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	谷井	
			担当者名	勝		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	日暮里サニーホール管理運営費						
	01-01-02	日暮里サニーホール共用部分等修繕						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	元年度	根拠	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び一般市民							
内容	<p>名称 日暮里サニーホール</p> <p>所在地 荒川区東日暮里5-50-5ホテルラングウッド4・5階 電話 3807-3211</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地上13階、地下3階の内、4・5階部分 延床面積 2,311.28㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）／面積404㎡</p> <p>コンサートサロン 収容人員100名（フラット時）／面積113㎡</p> <p>会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡）</p> <p>第2会議室 収容人員12名（面積25㎡）</p> <p>第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） ※第2,3会議室は通し使用可能</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年 2月 9日 日暮里サニーホールオープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成16年11月30日 （財）中央労働福祉センター解散。（株）三菱UFJ信託銀行が区と覚書を取交し、財団の業務を引継ぐ。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シービーシーメソッドによる管理開始。年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引き続き（株）シービーシーメソッドによる管理開始。 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、日暮里サニーホールさくらグループによる管理開始。（平成27年度更新） ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始。 							
必要性	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：29決算44,590,000円、30予算44,502,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	650	631	650	680	800	音楽、演劇、舞踊、映画等での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	66,078	63,005	70,790	72,000	80,000	上記①での利用人数
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。						

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		79,980	103,452	66,743	85,658	67,690	71,522	88,882
決算額(30年度は見込み)		73,851	97,876	60,288	77,061	59,671	61,955	88,882
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	多目的ホール貸出稼働率	64.5	67.1	73.6	70.9	70.8	68.6	70.9
	コンサートサロン貸出稼働率	86.7	89.0	89.5	90.8	91.4	90.4	91.1
	会議室貸出稼働率	74.3	75.7	78.7	77.9	73.1	72.1	75.5
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
委託料	指定管理者委託料等	44,317	需用費	災害用備蓄品	123	需用費	客席専用台車	199
使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券	18	委託料	指定管理者委託料等	42,589	委託料	指定管理者委託料等	76,079
備品購入費	客席、台車外	4,801	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	29	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	49
負担金補助等	ラグ'ウッド' 駐車場建物管理業務経費	5,131	備品購入費	客席、台車外	5,239	備品購入費	客席外	4,734
負担金補助等	ラグ'ウッド' 共用部分工事費	5,403	負担金補助等	ラグ'ウッド' 駐車場建物管理業務経費	5,568	負担金補助等	ラグ'ウッド' 駐車場建物管理業務経費	4,549
			負担金補助等	ラグ'ウッド' 共用部分工事費	6,559	負担金補助等	ラグ'ウッド' 共用部分工事費	3,272

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
物件費	49,137	49,829	692	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	10,534	12,127	1,593	使用料及び手数料	38	38	0	
減価償却費	36,010	36,010	0	その他	8,079	27,137	19,058	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,117	27,175	19,058	
賞与・退職給与引当金繰入額	591	1,229	638	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	102,838	104,143	1,305	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 94,721	▲ 76,968	17,753	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として36,607千円かかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

- 問題点・課題
- 稼働率の向上
 - 施設の改修工事計画の策定

問題点・課題の改善策								
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容			平成29年度に実施した改善内容および評価			平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容	
①	アンケートや月次報告を通して、意見やクレーム等を集約し、利用者数とサービスの向上を図る。			運営状況を月報で確認し、指定管理者と協力して適切な対応を取りサービスの向上を図った。クレーム等で重大な報告はなかった。			日暮里サニーホールを広く周知し、稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取組みを指定管理者と協議し、対応していく。	
②	特定天井及びその他の工事について、内容を精査し、関係所管課と実施方法を検討する。			特定天井及びその他の工事について、関係部署と情報共有を図り、今後の方向性について話し合った。			関係部署や施設と調整し、計画的な修繕の実施を検討していく。	
③								
他区の実況	(実施	22	区	未実施	0	区	不明	0
議(要旨)問状								

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額	102,326	72,251	165,932	95,339	76,354	111,002	125,950
決算額(30年度は見込み)	99,984	71,835	159,501	90,010	76,255	93,231	125,950
実績の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)							
多目的ホール貸出稼働率	67.9	63.2	58.1	70.0	59.9	64.1	59.9
会議室A・B貸出稼働率	55.5	56.5	60.6	70.3	65.1	62.4	67.7
スタジオ貸出稼働率	71.4	68.5	68.6	62.2	70.4	77.5	66.3
ギャラリー貸出稼働率	43.0	52.3	56.7	52.9	54.3	52.9	53.6

予算・決算の内訳							
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項
委託料	指定管理者委託料等	37,066	需用費	災害用備蓄品	123	需用費	ベルトパーテーション
備品購入費	指定管理者対応備品	500	委託料	指定管理者委託料等	37,430	委託料	指定管理者委託料等
負担金補助等	管理規約に基づく分担金	38,788	使用料等	AEDリース料	15	使用料等	AEDリース料
			工事請負費	計画工事等委託	11,635	備品購入費	指定管理者対応備品
			備品購入費	LEDライト外	2,621	負担金補助等	管理規約に基づく分担金
			負担金補助等	管理規約に基づく分担金	41,407		

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額
行政費用	給与関係費	6,128	4,948	▲ 1,180	地方税	0	0
	物件費	37,576	40,188	2,612	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	11,635	11,635	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	38,679	41,407	2,728	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	1,070	11,248
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,070	11,248
	賞与・退職給与引当金繰入額	551	1,229	678	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 172,865	▲ 179,160
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	173,935	190,408	16,473	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 172,865	▲ 179,160
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 172,865	▲ 179,160	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、指定管理料として35,550千円かかっている。行政収入のその他が増加しているのは、指定管理期間満了による利用料金前受金の返還金を一旦収入としているものである。

- 問題点・課題
- 稼働率の向上
 - 施設の改修工事計画の策定

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	アンケートや月次報告を通して意見やクレーム等を集約し、利用者数とサービスの向上を図る。	運営状況を月報で確認し、指定管理者と協力して適切な対応を取りサービスの向上を図った。クレーム等で重大な報告はなかった。	ムーブ町屋を広く周知し、稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取組みを指定管理者と協議し、対応していく。
②	センターまちや管理組合との連絡を密に行い、協力し合う体制を築き、適正な施設運営を図る。	空調工事の際、センターまちや管理組合と綿密に連絡を取り合い、スムーズな修繕工事の実施と施設の維持・管理向上に努めた。	関係部署や施設と調整し、計画的な修繕の実施を検討していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議(要)問(質)状	

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		6,294	6,029	6,146	5,608	6,015	6,573	6,252
決算額(30年度は見込み)		5,398	5,446	5,477	5,063	5,331	5,534	6,252
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	出演・参加者数	2,460	2,657	1,913	2,007	1,815	1,812	2,000
	出品者数	1,684	1,550	1,678	1,080	1,086	1,004	1,200
	観覧者数	13,987	15,589	16,573	14,185	14,147	13,643	14,000
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝礼	235	報償費	講師謝礼	258	報償費	講師謝礼	322
需用費	プログラム等	560	需用費	プログラム等	837	需用費	プログラム等	816
役務費	筆耕料・保険料等	361	役務費	筆耕料・保険料等	349	役務費	筆耕料・保険料等	395
委託料	会場設営委託	958	委託料	会場設営委託	932	委託料	会場設営委託	1,125
使用料等	会場使用料等	3,217	使用料等	会場使用料等	3,158	使用料等	会場使用料等	3,594

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	9,056	6,280	▲ 2,776	地方税	0	0	0
	物件費	5,086	5,268	182	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	245	266	21	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	424	621	197	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 14,811	▲ 12,435	2,376
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	14,811	12,435	▲ 2,376	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,811	▲ 12,435	2,376
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,811	▲ 12,435	2,376	

備考 行政費用としては、物件費が多くかかっている。物件費の主な内訳は、会場使用料3,158千円、会場設営委託料932千円などである。

問題点・課題 参加者や観覧者が固定化している傾向がある。文化祭をきっかけに多様な世代の区民が日本文化に興味を持つことができるよう、広く事業の周知をする必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	SNSでの周知に加え、近隣の駅へのポスター掲示や、都電内への掲示などを活用し、周知の場所を増やしていく。	都電内への入選俳句の掲示は普段俳句に親しみの無い乗客が熱心に見入るなど、好評を得た。	SNS、荒川区内での掲示に加え、民間コミュニティ誌への掲載など、周知の場所を増やしていく。
②	7月の子ども文化体験フェスタ参加者が文化祭にも参加できるような流れを団体と協議する。	子ども文化体験フェスタでの参加者が稽古を重ねて文化祭に出演することで、子の成長を感られたとの声が保護者からあった。	伝統文化親子教室・子ども文化体験フェスタ参加者の文化祭への参加を促進していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
況議(会質問状)	区の主催・後援による文化発表会等を含む

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-02-11		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		文化団体連盟補助		部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課	課長名	浦田	
				担当者名	渡辺	内線	3355	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-10-02 文化団体連盟補助						
		01-10-04 文化活動推進費						
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度		●昭和 ○平成 39年度		根拠		荒川区補助金交付規則		
終期設定		○有 ●無 年度		法令等		荒川区文化団体補助金交付要綱		
実施基準		○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		○計画 ●非計画		
行政評価事業体系		分野		V 文化創造都市				
		政策		09 伝統文化の継承と都市間交流の推進				
		施策		01 芸術文化の振興				
目的		区民の文化向上のために、文化活動の中心的な役割を果たしている文化団体を統括する団体（荒川区文化団体連盟）が実施する事業に対し支援する。						
対象者等		荒川区文化団体連盟 加盟団体（20団体）						
内容		<p>【文化振興事業補助金】</p> <p>目的を達成するため、加盟文化団体相互の親睦と情報の交換や、文化祭等、行事への参加または協力などの事業に対して補助する。</p> <p>◆加盟団体 20団体（平成29年度）</p> <p>○荒川区日本舞踊連盟 ○荒川区音楽連盟 ○全荒川写真連盟 ○荒川区謡曲連盟</p> <p>○荒川区華道茶道文化会 ○荒川区俳句連盟 ○荒川区囲碁連盟 ○荒川区民謡協会 ○荒川菊花会</p> <p>○荒川区吟剣詩舞道連盟 ○荒川盤景会 ○荒川区ソーシャルダンス連盟</p> <p>○荒川区書道連盟 ○荒川区美術連盟 ○荒川区大太鼓連盟 ○荒川区邦楽連盟 ○荒川区洋舞連盟</p> <p>○荒川区歌謡協会 ○荒川区皴月会 ○荒川区将棋協会</p> <p>【子ども文化体験フェスタ】（平成29年度～）</p> <p>次世代への文化の継承等のため、子ども文化体験フェスタ事業に対して補助する。</p>						
経過		<p>平成元年度 21団体加盟</p> <p>平成13年度 22団体加盟 荒川区歌謡協会 加盟</p> <p>平成15年度 23団体加盟 荒川区皴月会 加盟</p> <p>平成17年度 22団体加盟 荒川区美術刀剣連盟 脱退</p> <p>平成26年度 21団体加盟 荒川史談会 脱退</p> <p>平成27年度 22団体加盟 荒川区将棋協会 加盟</p> <p>平成28年度 21団体加盟 荒川区民踊連盟 平成28年5月総会にて脱退</p> <p>平成29年度 21団体加盟 芸術文化振興基金活用事業として、子ども文化体験フェスタ開催</p> <p>平成30年度 20団体加盟 荒川盆栽山野草会 平成30年5月総会にて脱退</p>						
必要性		第三次荒川区生涯学習推進計画の施策の柱3「地域で学び活躍する人材を支援する」を推進するために、充実する必要がある。						
実施方法		（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	連盟加盟団体数	22	21	21	20	25	H27将棋協会加盟 H28民踊連盟脱退 H29盆栽会脱退
	②	子ども文化体験フェスタ満足度(%)	-	-	78.3	80	100	参加者アンケートで「楽しかった・まあまあ楽しかった」と回答
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
継続		継続		文化団体への支援が区民の文化振興へと繋がるため、継続して支援を行う。				

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	4,331	4,820
決算額(30年度は見込み)		1,980	1,980	1,890	1,980	1,890	4,330	4,820
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
団体数		22	22	21	22	21	21	20
予算・決算の内訳		平成28年度(決算)			平成29年度(決算)		平成30年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	文化振興補助金	1,890	負担金補助等	文化振興補助金	1,890	負担金補助等	文化振興補助金	1,890
			賃金	文化事業繁忙期臨時職員	440	賃金	文化事業繁忙期臨時職員	930
			負担金補助等	荒川区子ども文化体験フェスタ	2,000	負担金補助等	荒川区子ども文化体験フェスタ	2,000

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,466	897	▲ 569	地方税	0	0	0
	物件費	0	440	440	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,890	3,890	2,000	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	69	89	20	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,425	▲ 5,316	▲ 1,891
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,425	5,316	1,891	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,425	▲ 5,316	▲ 1,891
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,425	▲ 5,316	▲ 1,891	

備考 行政費用としては、補助事業のため、補助費等に3,890千円かかっている。また、臨時職員賃金として440千円の物件費がかかっている。

問題点・課題 高齢化に伴い会員数が減少している団体が増えている。そのため、新会員の加入促進を図り、各団体の活性化を促す必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	文化祭で会員以外の参加者を募るなど、様々な事業を通じて新規会員の加入を促進する。	子ども文化体験フェスタで各団体のPRハガキを作り、参加者に配布することで新規会員の加入を図った。	子ども文化体験フェスタを初めとする各種イベントで引き続き各文化団体のPRをしていく。
②	次世代への文化継承に向けた取り組みを支援していく。	伝統文化親子教室や子ども文化体験フェスタ等の親子が参加できるイベントを充実させた。	伝統文化親子教室の拡充等、今後も文化団体の文化継承に向けた取り組みを支援していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
文化団体等への補助等を含む	
議(要旨)問状	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-02-12		戦略プラン		<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		文化講座補助		部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課	課長名	浦田	
		担当者名	渡辺	内線	3355			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-10-03	文化講座					
事務事業の種類		<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	元年度		根拠	荒川区補助金交付規則、荒川区町屋文化センター文化講座補助金交付要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	区民が安価で参加できる講座を安定して実施するため、荒川区文化団体連盟主催する文化講座に対し支援する。							
対象者等	文化団体連盟							
内容	【内容】文化団体連盟の自主事業である文化総合講座に対して補助する。 【会場】町屋文化センター 【実施方法】4月期、7月期、10月期、1月期の3ヵ月を単位として受講生を募集する。 【補助対象経費（平成29年度実績）】 会場使用料、チラシ印刷、チラシ折込、受講証印刷、文化総合講座学習成果発表会、インターネット代PR経費 【主な講座】（平成29年度） ジュニアアート 34/120 囲碁 165/160 土曜歌謡 124/120 俳句 118/100 水彩画 98/100 実用文字A 128/126 [受講者（人）/定員（人）]							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年1月～3月まで、町屋文化センター開設に合わせて開講。当初は、講師が教室運営を行った。 ・平成元年4月～ 運営委員会を組織し、教室運営を行った。 ・平成13年度 会場使用料を全額補助から半額補助に変更。それに伴い、受講料を100円値上げした。 ・平成14年度 ジュニア向け講座として7月より囲碁、10月より書道・美術を開講 ・平成19年度 区制75周年に伴い、子ども・高齢者対象の事業やボランティア活動を実施している団体への支援を行った。 ・平成22年度 震災により学習発表会を中止 ・平成23年度 震災の影響により5月まで夜間講座を休止 ・平成26年度 ギター・声楽講座などを廃止し、合唱・ピアノ講座を新設 ・平成27年度 社交ダンス講座を新設、囲碁（子ども・大人入門）を隔週から毎週開催とした。 							
必要性	本事業は、地域の人材を活用し区民に様々な生涯学習の機会を与えるとともに、日本の伝統文化の継承も担っており、第三次荒川区生涯学習推進計画の施策の柱2「区民一人ひとりの学びを支援する」を推進するために充実する必要がある。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 文化団体連盟による運営委員会方式 運営委員長：軽込 章（荒川区歌謡協会） 運営委員数：6名（委員長1名、会計2名、総務2名、書記1名）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	受講者数	1,938	1,906	1,938	2,000	2,500	受講者数
	②	受講率（%）	61	60	62	65	70	受講生/定員
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
継続	継続	多様な区民の文化向上のための講座を実施している。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353
決算額(30年度は見込み)		3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	講座数	29	29	29	30	30	30	30
	受講者数	1,927	1,945	2,120	1,938	1,906	1,938	2,000
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	文化総合講座補助	3,353	負担金補助等	文化総合講座補助	3,353	負担金補助等	文化総合講座補助	3,353

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		949	897	▲ 52		地方税		0	0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		3,353	3,353	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		44	89	45	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 4,346	▲ 4,339	7		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		4,346	4,339	▲ 7	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 4,346	▲ 4,339	7		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 4,346	▲ 4,339	7		

備考 行政費用としては、補助事業のため、補助費等に3,353千円かかっている。

問題点・課題 成人向けの講座に比べ、ジュニア向けの講座の参加者数が少ない。あらゆる世代の区民が日本の文化に興味を持ち参加できるよう、若年層向けのPR方法を検討するとともに、講座内容の検討も行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	本事業におけるジュニア講座の必要性、子どもへの周知方法などの今後の方向性を文化団体連盟と協議する。	伝統文化親子教室や子ども文化体験フェスタに参加する親子に各団体のPRポストカードを配る等のPRをした。	新聞を取っていない家庭も多いため、チラシを各小中学校に直接配布するように文化団体と協議する。
②			あらゆる世代の区民が参加しやすい内容・日時の設定等を、四者協議会等で検討する。
③			
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)		
議(要旨)問状			